

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	共生型放課後等デイサービスふじの家段原		
○保護者評価実施期間		2025年11月24日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間		2025年11月24日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	共生型施設として、高齢者デイサービスと放課後等デイサービスを一体的に運営しており、利用している子どもたちが、日常的に高齢者との交流があること。レクリエーションも合同で実施できており、たくさんの交流が持てる。	放課後、休日ともに、レクリエーションやおやつの時間と一緒に過ごせるなど、日常の中に高齢者をはじめ、様々な人たちとのかかわりを持つことで、社会性を育んでいる。	日常的なかかわりを持つことに加えて、季節ごとのイベントや共同制作を行い、様々なかかわりを通じて子どもの成長を支援する。
2	さまざまな特性を持つ子供たちが同じ空間で楽しく環境作りを行なっている。	一人ひとりの子ども特性を職員同士で共有し、一人ひとりの子どもに合わせた支援の環境整備を行い、個別のプログラムを提供している。	保護者や関係機関との連絡を密に行い、支援チームがより協力することで、子どもの成長を支援する。
3	多職種で子どもたちの療育にかかわっていること (児童発達支援管理責任者、看護師、児童指導員、介護福祉士等)	看護師による健康管理等、多職種の専門性を活かした関わりを行える	福祉・医療・介護それぞれの知識を活かしたアセスメントの充実

	事業所の弱み（※）だと思われる こと ※事業所の課題や改善が必要だと思われる こと	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	コロナ以降、イベント参加や外出が減少した。	外出を安全に実施するための人員確保が出来ていないため。	感染予防対策・安全対策の強化し、子ども達が安心して安全にイベントや外出行事ができるように努め、地域の学校との連例を図り、ボランティアを呼び人員を確保する。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		共生型放課後等デイサービスふじの家段原						
		公表日 2026年2月10日						
		利用児童数 2025年12月15日						
		回収数 11 (15・22未回答あり)						
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1	0	0			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	4	0	0	障がいの関係で、手が出たり等、他害がある児童に付くことが出来ない為、軽度の子ども達に目がつけられられたり手があげられる	高齢者フロアと連携を取って対応してまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	1	直接見る機会が少ない為わかりません	イラストのスケジュール提示をするなど、児童にわかりやすい環境を整えております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	2			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	9	0	0	2			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1	0	0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	11	0	0	0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	4	0	0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	5	1	4	高齢者との交流が出来て良い	引き続き高齢者や他の学生と交流ができる機会を設けております。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	4	2	3			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	1	1	送迎の際に、話が出来て良い	ありがとうございます。引き続き連絡帳や送迎時に相談支援をさせて頂きます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	1	5			
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0			
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0			

	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	4	0	1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	3	0	3		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2	0	4		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	0		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	10	1	0	0	不安な時は、落ち着ける和室スペースがあり安心感がある	ありがとうございます。今後も状況に合わせて高齢者スペースを活用しながら対応してまいります。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	職員や高齢者と過ごすのが楽しい様子	ありがとうございます。引き続き児童に寄り添った支援をさせて頂きます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	友達も出来て仲良く遊んでいる姿も見られて嬉しく思う	ありがとうございます。引き続き子どもに寄り添った支援を行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		共生型放課後等デイサービスふじの家段原				公表日	2026年 2月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			・パニック時や泣いていてクールダウンする個室が必要。（パーテーションを設置していたことがあるが、倒れないように工夫が必要）	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	必要な時には声を掛け合って対応している。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	・子どもにわかりやすく席や予定等をイラストや文字で分かりやすくしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	学習や集中して活動するスペースとゆっくり過ごせるマットスペース、体を動かして活動できるスペースがある。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	高齢者フロアに行けるよう環境になっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	個々の課題を共有し、情報交換、振り返りの時間を月に1回会議で持つようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	集計して必要なことは共有し、改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		スタッフ間で必要な情報共有をしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		実施できていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		スタッフ個人が必要な研修を受講している。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		半年毎に保護者と話しプラン内容を見直して対応している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		作成しているが、実施出来ていない点もあるため、保護者と話し随時更新している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		一人ではなく、上司やスタッフと情報共有し作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2		一部しかできていない所はあるので共有していく必要がある。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・必要な情報共有はしている。 ・日々の行動観察は毎回記録している。		
適切な支援の提...	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	保護者と話し合い、スタッフにも様子を聞いて必要な内容で作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	3			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・うたの時、運動の時、工夫を取り入れて実施している。 ・季節ごとのプログラムを立てている。		

供 託	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動と集団活動を取り入れて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	必要なことは共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		必要なことは共有して、改善策を検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		実施できている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	1	取り組んでいる。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	2	2択で聞いたり問い合わせて機会を作っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要なことは保護者を通して確認している。 送迎時に先生とも情報共有できている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		出来ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		実施できていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2		実施できていない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		実施できていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	2	放課後児童クラブとの交流があった。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
運 営	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3		実地出来ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	1		